

様式 A 情報リテラシー（寺元，藪木，大西，竹谷）

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	情報リテラシー Information Literacy		単位 2
	一般・専門の別・ 学習の分野	専門 情報システム	授業形態・学期	講義／演習 ・通年
	対象学生	1 年共通	必修・必履修・ 履修選択・選択の別	必履修
教員に かかわ る情報	担当教員・所属系	寺元，藪木，大西，竹谷・総合理工学科情報システム系		
	研究室等の連絡先	研究室：情報工学科棟 4 階（内線：8 2 8 9） E-mail：tearamoto@tsuyama-ct.ac.jp		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	情報学／情報学基礎，計算基盤		
	学習教育目標との関 連	本科目は「③基盤となる専門性の深化」に相当する科目である。		
	技術者教育プログラ ムとの関連	本科目が主体とする学習・教育目標は「(C) 情報技術の修得」である。		
	授業の概要	コンピュータを中心とする情報機器を活用して問題を解決するとき，最低限知っておくべき科学的・技術的な知識を理解する。また，インターネットの普及に見られるように，身近になってきた情報社会に個人としてどのように関わっていくべきか学習する。また，情報機器を正しく活用する技術を身につける。		
	学習目的	情報を活用する時の考え方や具体的な処理の方法について学習する。また ICT を活用した学習がスムーズに行える技術を習得する。		
	到達目標	1．情報の概念および情報の活用と発信の基礎について理解している。 2．情報の管理とセキュリティの基礎について理解している。 3．コンピュータとネットワークの仕組みの基礎について理解している。 4．情報社会のもたらす影響と課題について理解している。		
履修上の注意		学年の課程修了のためには履修（欠席時間数が所定授業時間数の 3 分の 1 以下）が必須である。		
履修のアドバイス		必要に応じてレポート課題を課すので，必ず提出すること。		
基礎科目		（中学校）技術・家庭の「情報に関する技術」		
関連科目		専門科目全般（全系 2 年）		

授業にかかわる情報			
授業の方法		プレゼンテーションと演習を中心に授業を進める。情報機器を活用して問題を解決するときに必要とされる概念の全般をイメージできるよう授業を進める。90分の内、前半を講義，後半をパソコン演習とする。また，理解が深まるよう演習やレポートや総合演習を課す。	
授 業 計 画	開講週		内容〔項目〕（指示事項）
	前 期	1 週	科目の位置づけ，学習内容，方法に関するガイダンス，演習室利用の説明
		2 週	情報の概念〔情報の性質，情報伝達の特徴〕，演習：ログイン方法，パスワードの設定など，パソコン演習に必要な基礎の演習
		3 週	情報の概念〔情報伝達の方法〕，演習：ログイン方法の確認，パスワード変更，パソコン演習に必要な基礎の演習 2
		4 週	情報収集の方法と整理方法〔情報の収集〕，演習：,インターネットアクセス，ブラウザの使い方
		5 週	情報収集の方法と整理方法〔整理〕，演習：ファイルの取扱について演習
		6 週	情報の加工・表現〔表現手法〕，情報加工に関して配慮すべき事項，Office365 (Word,PowerPoint)の演習
		7 週	情報の加工・表現〔加工の手段〕，演習：BlackBoard の使い方演習
		8 週	中間テスト
		9 週	中間テストの答案を返却して解説，演習：パソコン演習の復習
		10 週	情報の管理とセキュリティ I〔個人による情報セキュリティ対策①〕，演習：Office365（電子メール）の演習①
		11 週	情報の管理とセキュリティ I〔個人による情報セキュリティ対策②〕，演習：Office365（電子メール）の演習②
		12 週	情報の管理とセキュリティ II〔セキュリティ保護技術，不正アクセス，有害情報〕，演習：Office365(OneNote)の演習①
		13 週	情報の管理とセキュリティ II〔ネチケット，マナー〕，演習：Office365(OneNote)の演習②
		14 週	- 前期の復習と確認，演習：前期の復習と確認 - 前期末試験
		15 週	前期期末試験の返却と解答解説

後 期	16 週	問題解決の方法〔シミュレーション①〕, 演習: Office365 (SharePoint)の演習①
	17 週	問題解決の方法〔シミュレーション②〕, 演習: Office365 (SharePoint)の演習②
	18 週	
	19 週	コンピュータのしくみ〔CPU〕, 演習: Office365 (サイト)の演習①
	20 週	コンピュータのしくみ〔メモリ〕, 演習: Office365 (サイト)の演習②
	21 週	コンピュータのしくみ〔I/O〕, 演習: Office365 (サイト)の演習③
	22 週	コンピュータのしくみ〔BUS等〕, 演習: Office365 (サイト)の演習④
	23 週	中間テスト
	24 週	中間テストの答案を返却して解説, 演習: パソコン演習の復習
	25 週	情報通信ネットワーク〔階層構造〕, 演習: Office365 を使った総合的な演習・発表準備①
	26 週	情報通信ネットワーク〔インターネットの構造〕, 演習: Office365 を使った総合的な演習・発表準備②
	27 週	情報社会のもたらす影響と課題〔各種法律〕, 演習: Office365 を使った総合的な発表①
	28 週	情報社会のもたらす影響と課題〔社会問題等〕, 演習: Office365 を使った総合的な発表②
	29 週	- 後期の復習と確認, 演習: 後期の復習と確認 - 後期末試験
	30 週	後期末試験の答案返却と試験解説
教科書, 教材等		教科書: ネットワーク社会における情報の活用と技術 (実教出版)
成績評価方法		4 回の定期試験の結果を同等に評価する (50%)。また演習状況 (20%), レポート課題または総合演習の発表 (30%) で評価し, 最終的な成績を出す。なお各定期試験の結果が 60 点未満の人には補習, 再試験により理解が確認できれば, 点数を変更することがある。ただし, 変更した後の評価は 60 点を超えないものとする。
受講上のアドバイス		近年のコンピュータ, ネットワーク, 情報化に関連する技術は急速に発達している。技術の発展に遅れないためにも, コンピュータ・ネットワーク系の雑誌や新聞を読むことを薦める。 遅刻は授業時間半分までとし, 遅刻 2 回で欠課 1 回として取り扱う。

ルーブリック								
	優		良		可		不可	
評価項目 1	情報の概念を他人に説明できるレベルで理解し、情報の活用と発信を自在に行うことができる。		情報の概念を十分理解し、情報の活用と発信を行うことができる。		情報の概念をある程度理解しており、情報の活用と発信の基礎は行うことができる。		情報の概念を理解できていない。また情報の活用と発信を行うことができない。	
評価項目 2	情報の管理とセキュリティについて他人に説明できるレベルで理解している。		情報の管理とセキュリティについて十分理解している。		情報の管理とセキュリティについて基礎を理解している。		情報の管理とセキュリティについて理解していない。	
評価項目 3	コンピュータとネットワークの仕組みについて他人に説明できるレベルで理解している。		コンピュータとネットワークの仕組みについて十分理解している。		コンピュータとネットワークの仕組みについて基礎を理解している。		コンピュータとネットワークの仕組みについて理解していない。	
評価項目 4	情報社会のもたらす影響と課題について他人に説明できるレベルで理解している。		情報社会のもたらす影響と課題について十分理解している。		情報社会のもたらす影響と課題について基礎を理解している。		情報社会のもたらす影響と課題について理解していない。	
評価割合								
	試験	発表	相互評価	演習態度	課題	その他	合計	
総合評価割合	50	10	0	20	20	0	100	
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	
専門的能力	50	10	0	20	20	0	100	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	